



社会福祉法人 大分県福祉会 大分市頭徳町 1-13-17 発行者 有松一郎 532-3472

リブランディング始動

～ 大分県福祉会の魅力発信 ～

令和五年 今年度は新たに、「さらなる発展と安定・継続」を中心に据えた重点課題に向け法人の再構築(リブランディング)に取り組むこととした。これまで築いてきた大分県福祉会というブランドを保ちつつ、人材不足と働く環境のバージョンアップに着目し、クリエイターと共に法人の現状を正しく把握し、時代やニーズの変化に応じた理念、業務の在り方等を見つめ直すこととした。

まず職員へのヒアリングと併せ、リブランディングのためのプロジェクトチームを形成した。大分県福祉会で働く職員が、お互いを知り横のつながりをもつ、職員同士が刺激を受けモチベーションアップにつなげる、福祉や法人が行っている



ウェブサイト公開に向けて

る事業への理解を深め職員一人ひとりが内外に発信しているようになることを目指して、社内報制作をスタートし、第一号を七月十五日に発行した。

そして今、採用ウェブサイトの九月公開に向けて作成を行っている。このサイトでは、「全国に向けて、法人のビジョンやそこで働くことの魅力を伝える」を大切に、大分県福祉会が働きたい、大分に帰り働きたい人たちに認知が広がることを目指している。それは、意欲的な人材の確保につながる」と期待される。また保育園や

人事

- 評議員(任期 令和三年六月十八日) 令和七年定時評議員会(終結時)
 - 麻生栄作・衛藤憲一
 - 岡村邦彦・工藤修一
 - 齊藤國芳・秦昭二
 - 仲元研二・平岩純子
- 役員(任期 令和三年六月十八日) 令和五年定時評議員会(終結時)
 - 【理事】
 - 有松一郎・後藤哲臣
- 職員

- 釘宮和代・荒木啓司
- 橋本均(新)・安東一夫(新)
- 退任 佐藤光一郎・川野義人
- 【監事】
- 此本浩毅・永岡壯三(新)
- 退任 秀嶋良昭
- 評議員選定委員(任期 令和三年六月十八日) 令和七年定時評議員会(終結時)
 - 加藤恵子・関谷眞佐子
 - 淵 万壽・此本浩毅
 - 阿南奈緒美(新)
- 退任 安東一夫
- 【職員異動】 令和三年四月一日付
- 事務局長
- 【昇任】(別府厚生館長兼務) 安東一夫(別府厚生館長)
- 顧問(アドバイザー)
- 【新任】
- 釘宮和代
- 【退任】
- (滝尾保育園長兼事務局長) 後藤哲臣
- 施設長
- 【昇任】(滝尾保育園長) 堤 郁夫(滝尾保育園副園長)

理事会・評議員会

- 三月定時理事会 (令和三年三月二十五日)
 - ① 幹部職員人事
 - ② 定款の変更
 - ③ 規則改正(経理規程、キャリアアップ制度運用規則、給与規則、就業規則、保育園運営規程、重要事項説明書)
 - ④ 別府厚生館改装工事契約
 - ⑤ 令和二年度第二次補正予算、第三次補正予算
 - ⑥ 積立金取崩
 - ⑦ 令和三年度事業計画、当初予算について
- 五月定時理事会 (令和三年五月二十五日)
 - ① 規則改正(パソコン使用規程、キャリアアップ制度運用規則、評議員選定委員会規則)
 - ② 令和二年度第二次補正予算
 - ③ 令和二年度事業報告、決算
 - ④ 監査報告
 - ⑤ 契約
 - ⑥ 評議員選定委員の選任及び評議員選定委員会の開催
 - ⑦ 次期評議員選任候補者の推薦について

福祉サービス運営委員会

- 六月定時評議員会 (令和三年六月十八日)
 - ① 令和二年度事業報告、決算
 - ② 監査報告
 - ③ 定款の変更
 - ④ 理事、監事の選任について
- 六月臨時理事会 (令和三年六月十八日)
 - ① 理事長、常務理事の選出
 - ② 評議員選定委員の選出

皆様におかれましては、平素より大分県福祉会に對しまして、多大なご協力・ご支援を賜り、心より厚く感謝申し上げます。特に、昨年来の新型コロナウイルスによる困難な状況につきましては、利用者及びご家族の皆様のご理解とご協力、さらには関係機関のご支援・ご指導、そしてなによりも各施設の職員の高い緊張感と日々の尽力により、今日まで大過なく過ごすことが出来ました。重ねて、皆様に感謝とお礼を申し上げます。引き続き、基本的な感染症対策をはじめ、安心安全な福祉の実現を目指し、しっかりと取組んでまいります。

さて、社会環境が大きく変わる中、福祉を取り巻く状況も大きく変化しております。特に人と人のコミュニケーションの在り方の激変、あるいは国際的なサプライチェーンの変化にともなう製造業の停滞や接客サービス業を中心とした雇用の不安定化は、人の孤立や貧困問題を引き起こし、新たな社会問題となっております。そこで令和三年度の大分県福祉会は、より頼もしい組織への進化を目指し、「リブランディング」へのチャレンジをスタートしました。これを通じて、



希望に満ちた次世代育成

「デザイン経営」の実現

社会福祉法人大分県福祉会

理事長 有松 一郎

今一度社会福祉法人としての存在価値をしっかりと確認し、利用者様の皆様はもとより、ご家族の皆様や地域の皆様、さらには社会よりいただいた信頼と負託にしっかりと応えることが出来るよう、組織や事業のさらなる進化を目指します。そこで、令和元年度よりスタートした中期事業計画をアップデートし、施設を卒業した子ども達への新たなアフターケアサービスの実現やよりきめ細やかに福祉のニーズに出来るための相談支援事業の更なる充実強化、さらにはデザイン経営の実現を目指すための組織進化等を新たにビジョンとして掲げてまいります。また、本年度よりの新たな取組みとして、来年スタート予定の大分空港のスペースポート化を子ども達の未来づくりのチャンスと捉え、「一般社団法人 おおいたスペース

「未来」に法人会員として加入し、夢溢れる宇宙というキーワードを活かし、希望に満ちた次世代育成の一助としてまいります。今後は、このような異分野組織との連携をさらに拡充し、新たな福祉サービスの実現や頼もしい人材の育成へと繋げたいと考えております。新時代を迎えた社会福祉法人として、これまで取組んでまいりました公正で透明な運営や人材育成につぎましては、さらにその磨き上げに取組み、充実した福祉の実現につぎまして、より高度な取組みを展開していく所存です。

最後に、社会福祉法人に寄せられる期待は、年々大きくなっていくと感じております。利用者様の幸福の追求はもちろんのこと、社会インフラの一部としての機能充実に對して更なる取組みが期待されると承知しております。今回の中期ビジョンのアップデートを機に、私どもに寄せられた信頼と負託に全力で応えてまいります所存です。今後益々の皆様のご支援・ご協力を賜りますことを、心よりお願い申し上げます。

「デザインシンキング」で問題を見つめる力を養いたい。コンサルティングを受けながら新たな変化をめざしたい」との理事長のあいさつで運営委員会を閉じた。



お泊り保育 滝尾保育園

当日まで天候が心配されたが年長きく組の子ども達も楽しみで泊りが出来た。お泊り保育のテーマとして「サラダとまほうのおみせ」の絵本を選んだ。あらすじは「やなぎ村にイモ虫のモナックさんがサラダと魔法のお店を開き、大評判の中、急にお休みに…。村の住人は心配してお店に行くと、魔法のようにモナックさんがイモ虫から蝶になった。蝶になって別の村に引越したモナックさんから、結婚式に来て欲しいと手紙をもらった村の住人はプレゼントを持って出かける」といった内容だ。四月から絵本を読み始め、五月にはお店屋さんごっこが始まった。そして六月にはきく組にモナックさんがやって来た。お泊り保育までの三ヶ月間、子ども達は遊びの中でお話のイメージを膨らませ、保育者はこのイメージを大切にしながら活動計画を立てて行った。

そして迎えた七月九日。買い物体験として保育者が用意した駄菓子屋へ行き、昼食では流し素麺にスイカ割を楽しんだ。どれも初めてのことで、子ども達にとつて良い経験となった。夕食のカレーとサラダ作りは自分達で行い、何度もお代りをする美味しさだった。すると、モナックさんから「結婚式に来て欲しい」という手紙が届いた。そこで、絵本に出てくるお祝いの品を探しに行き、戻ると子ども達の前にモナックさんが奥さんと登場し、

お祝いのお返しにと花火をくれた。モナックさんと記念写真を撮り、花火をして楽しいお泊り保育の一日は終わった。翌日、保護者と話しながら帰っていく子ども達の表情は達成感が溢れ、自信に満ちていた。今後も色々な経験を通して成長していく姿を、しっかりと見守りたいと思った。

手形をつけて、作品を完成させた。今回のワークショップでは、日頃できないような創作に挑戦することができた。触感に拘って素材を選んでおり、子ども達は色々な物の手触りを楽しんだ。初めは緊張していた子どもが多かったが、徐々に「こんな作りたい」と話すようになり、笑顔で創作に取り組んでいた。子ども達の柔軟な発想に驚かされることも多く、大人も新しい発見を楽しみむことができた。友だちと協力したり、一人で集中して取り組んだり、色々な表情を見る事の出来た三日間だった。今後も利用児者に色々な体験をしてみたい。

今年より加盟している青少年赤十字の活動の一環として、年長クラスの園児二十七名が保育園の花壇に花を植える「お花いっぱい活動」に取り組んだ。この花壇は昨年度の卒園記念品として贈っていた

去年より加盟している青少年赤十字の活動の一環として、年長クラスの園児二十七名が保育園の花壇に花を植える「お花いっぱい活動」に取り組んだ。この花壇は昨年度の卒園記念品として贈っていた

だいたものである。道路に面していることからきれいな花を植えて近所の方にも喜んでもらえるようにと活用している。今回も「みんなに喜んでもらうために花壇を花でいっぱいにしよう」と話をする。子ども達も目を輝かせていた。肩に青少年赤十字のワッペンを付けて誇らしげな子ども達は、園長先生から植え方を教えてもらい、一人一株丁寧に植えることができた。「私のは赤い花だよ」「土は優しくかけるといいよ」「毎日水やりをしよう」などの声が聞かれ、次の日からはグループごとに水やりをして世話をすることを喜んでいる。また、毎年年長児は地域清掃として園に隣接した若葉公園の清掃活動を行っている。「毎日遊んでいる公園をきれいにしたい」という思いから地域の方々と一



百年後をイメージして

令和三年二月、県内の福祉施設へアーティストを派遣し、芸術を体験する『みんなのアーツ体験事業』に別府厚生館の小学生が参加した。初回は色とりどりの大きな布を使い、園庭の遊具や木を飾り付けた。布を結び遊具を覆うような大きな作品を作ったり、裂いた布を丸めて小さな花を作ったりと、作品に子ども達の個性が表れていた。

七月十八日(日)子ども達が楽しみにしているふうせんバレーが実施された。ふうせんバレーとは、風船に特徴があり、直径五十センチほどの風船の中に鈴を入れることで視覚障がいのある方でも一緒に楽しめるスポーツとなっている。森の木は川野前施設長の紹介で十年以上前から参加している。毎年参加をしているが、昨年度はコロナウイルスの影響で参加はできなかった。

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる



モナックさんと一緒に!

七月十八日(日)子ども達が楽しみにしているふうせんバレーが実施された。ふうせんバレーとは、風船に特徴があり、直径五十センチほどの風船の中に鈴を入れることで視覚障がいのある方でも一緒に楽しめるスポーツとなっている。森の木は川野前施設長の紹介で十年以上前から参加している。毎年参加をしているが、昨年度はコロナウイルスの影響で参加はできなかった。

七月十八日(日)子ども達が楽しみにしているふうせんバレーが実施された。ふうせんバレーとは、風船に特徴があり、直径五十センチほどの風船の中に鈴を入れることで視覚障がいのある方でも一緒に楽しめるスポーツとなっている。森の木は川野前施設長の紹介で十年以上前から参加している。毎年参加をしているが、昨年度はコロナウイルスの影響で参加はできなかった。

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる



森の木

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる



白熱した試合の様子

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる



交通安全教育車 セーフティぶんどんご

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる



お花きれいだね☆

六月十日(木)の園内研修で職員交通安全教室を実施した。今回は大分中央警察署交通安全教育課に依頼し、交通安全教育車「セーフティぶんどんご」を使つての研修を行った。この車には交通事故防止を目的に、運転の体験ができる

令和2年度決算書

貸借対照表

令和3年3月31日(単位:円)

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
流動資産	3,417,206	28,702,632	23,089,343	16,782,161	68,895,470	21,933,442	27,708,448	190,528,702
固定資産	14,278,223	96,622,932	213,516,226	81,223,680	509,891,153	431,287,403	488,152,862	1,834,972,479
資産の部合計	17,695,429	125,325,564	236,605,569	98,005,841	578,786,623	453,220,845	515,861,310	2,025,501,181
流動負債	2,090,390	19,539,513	3,612,401	2,273,518	9,402,362	15,852,213	11,321,064	64,091,461
固定負債	5,444,580	5,419,314	10,089,874	5,744,232	27,450,813	148,347,961	174,226,624	376,723,359
負債の部合計	7,534,970	24,958,827	13,702,275	8,017,750	36,853,175	164,200,174	185,547,688	440,814,858
基本金	23,798,445					19,557,000	30,312,000	73,667,445
国庫補助金等特別積立金		26,558,181	131,040,309	42,445,305	150,794,549	187,208,280	228,503,609	766,550,233
その他の積立金		32,700,000	26,360,000	26,325,000	219,550,000	12,000,000	19,150,000	336,085,000
次期繰越活動増減差額	Δ 13,637,986	41,108,556	65,502,985	21,217,786	171,588,899	70,255,391	52,348,013	408,383,644
純資産の部合計	10,160,459	100,366,737	222,903,294	89,988,091	541,933,448	289,020,671	330,313,622	1,584,686,322
負債及び純資産の部合計	17,695,429	125,325,564	236,605,569	98,005,841	578,786,623	453,220,845	515,861,310	2,025,501,181

大分県福祉会事務局及び各施設においては、関係書類の閲覧に応じる用意があります。

編集後記

☆編集スタッフ☆

【編集責任者】

関谷眞佐子

【編集委員】

津守克彦(うえの園)

宮成俊佑(うえの園)

首藤美咲(別府厚生館)

小林奈未(森の木)

秋月忍(滝尾保育園)

小島すみれ(明野しいのみ保育園)

【顧問】

安東一夫(事務局長)